国際石油開発帝石株式会社
INPEX CORPORATION

平成 24 年 8 月 8 日

各　位

国際石油開発帝石株式会社
広報・IR ユニット
（電話 03-5572-0233）

カナダ シェールガス開発生産プロジェクト
ネクセン社（カナダ）からの鉱区権益取得手続きの完了について（お知らせ）

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、日揮株式会社と共同で設立したカナダ・ブリティッシュ・コロンビア州法人 インペックス ガス ブリティッシュ コロンビア社を通じて、カナダの石油・天然ガス開発会社ネクセン社がカナダのブリティッシュ・コロンビア州北東部のホーンリバー、コルドバおよびリアードの各地域に保有するシェールガス鉱区（ネクセン社が 100%の権益を保有）に関し、ネクセン社から各鉱区の 40%の権益を取得することについて、本日、必要な取得手続きが完了しましたので、お知らせいたします。

なお、当社は、今後本格化する本プロジェクト事業の円滑な推進のため、カナダ・アルバータ州のカルガリーに事務所を開設しました。

以上

「補足・関連情報」

＜プロジェクト概要＞

（1）権益比率

ネクセン社	60%（オペレーター）
インペックス ガス ブリティッシュ コロンビア社※	40%

※出資予定比率：
当社 82%、日揮㈱のカナダ法人子会社 18%

（2）鉱区位置

カナダ　ブリティッシュ・コロンビア州北東部　　カルガリー北北西約 1,000 km

（3）鉱区（面積）

1. ホーンリバー地域（366 km^2）
2. コルドバ地域（333 km^2）
3. リアード地域（517 km^2）

（4）生産・開発状況、今後の予定

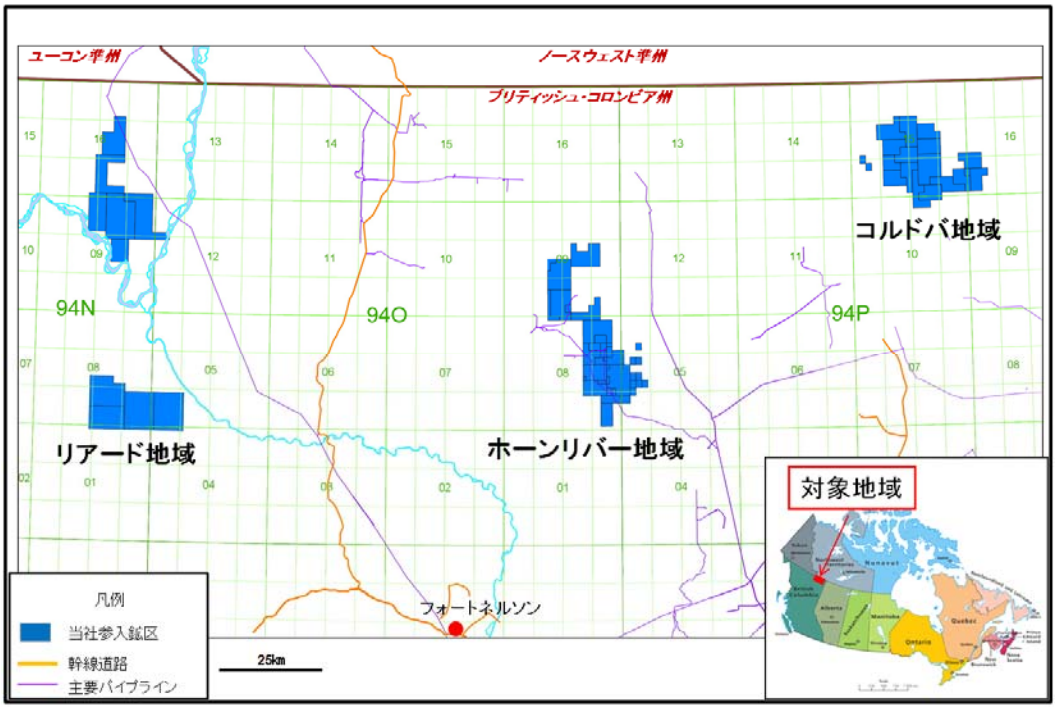
ホーンリバーでは、既に日量 65MMscf（原油換算で日量約 10,400 バレル）を生産中です。今後、ホーンリバーおよびコルドバで本格的な開発作業を進め、両鉱区合計で日量最大 1,250 MMscf（原油換算で日量約 200,000 バレル）規模の生産を目指し、リアードからのガス生産が始まれば、本プロジェクトからの総生産量がさらに増加することになります。

また、生産したシェールガスを原料に、液化天然ガス（LNG）として日本をはじめとする東アジア地域へ輸出する可能性についても検討を進めながら本プロジェクトを推進してまいります。

（5）本プロジェクトへの参画意義

本プロジェクト参画は、本年 5 月に公表した INPEX 中長期ビジョンにおける成長目標の一つである上流事業の持続的拡大に貢献するとともに、当社の天然ガス資産の更なる拡充に資するものと考えております。また、本プロジェクトは当社が初めて参画するシェールガス開発生産プロジェクトであり、当社は、本プロジェクトの事業プロセスに積極的に関与することにより、シェールガスに関する知見とノウハウを蓄積し、今後非在来型炭化水素資源の開発に積極的に取り組んでまいります。

＜鉱区位置図＞



＜シェールガスとは＞

非在来型天然ガスの一種です。在来型天然ガスといわれる従来のガス田の場合と異なり、硬いシェール（頁岩）層にガスが含まれています。採取するためには、水平坑井を掘削し、水圧破砕法によってシェール層へ人工的にガス採取用の割れ目を作りガスを採掘します。近年はこれらの採掘技術の進歩などにより特に北米地域においてシェールガス生産量が飛躍的に向上し、大変注目されています。